

令和2年10月9日

令和2年 台風第14号に関する説明会

この資料は、10月9日11時開催の説明会時点の資料です。その時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の気象情報は、気象台ホームページから確認ください。



京都地方気象台

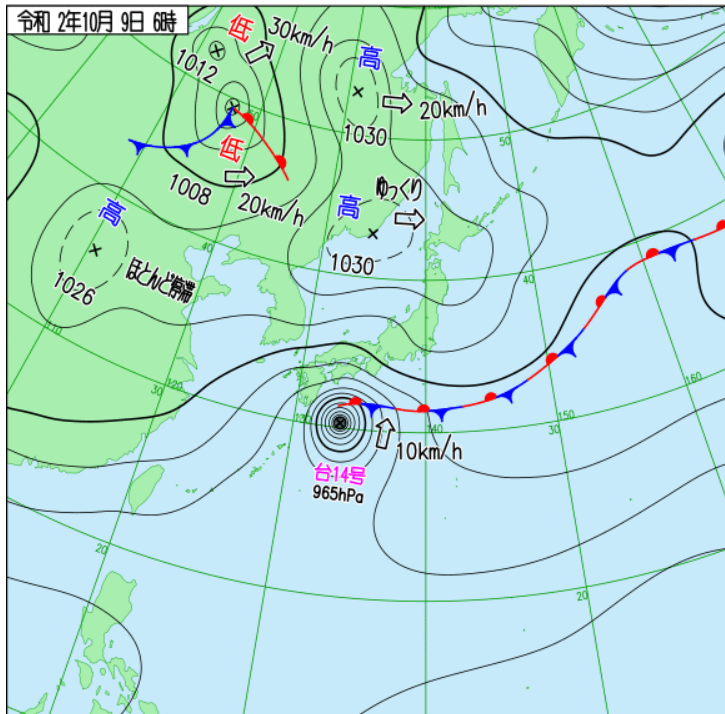
台風第14号の進路と影響のポイント

- 9日9時、強い台風第14号は、足摺岬の南の海上を北東に進んでいる。今後、四国の南を北東から東北東に進み、強い勢力を保ったまま、10日に近畿地方に接近する見込み。
- 台風は、京都府に10日朝から昼前に最も接近する見込み。前線や台風に伴う雲域により10日にかけて雨が降り続くため大雨となるおそれがある。雨のピークは、10日朝から昼前となる見込み。
- 台風が、北よりの進路予想を進んだ場合は、10日明け方からは、警報級の大雨（土砂災害）となる可能性がある。
- 台風の接近とともに、北部では引き続き10日にかけて東よりから北よりの風が強い見込み。南部では9日昼過ぎから東よりの風が強まり、10日は次第に北よりの風が変わり、強い見込み。
- 台風が進路予想の北側を進んだ場合は、南部では10日明け方に暴風域に入る可能性がある。
- 強風、高波に注意。低い土地の浸水、土砂災害、河川の増水に十分注意。

◆ 常に最新の気象情報をご利用ください。

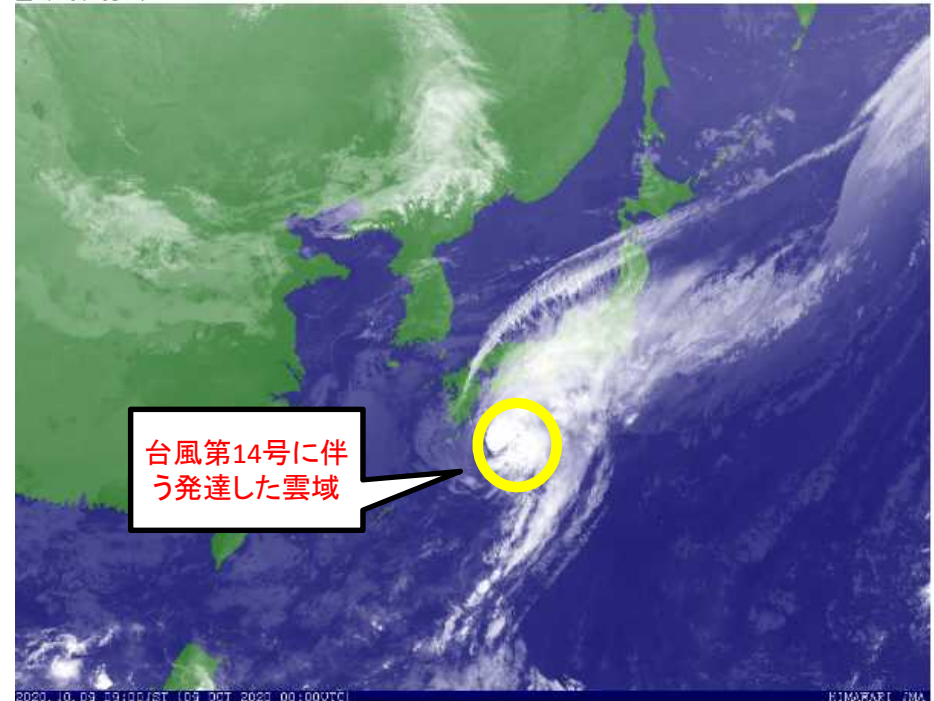
9日6時の気圧配置と台風第14号の実況

地上天気図 10月9日06時



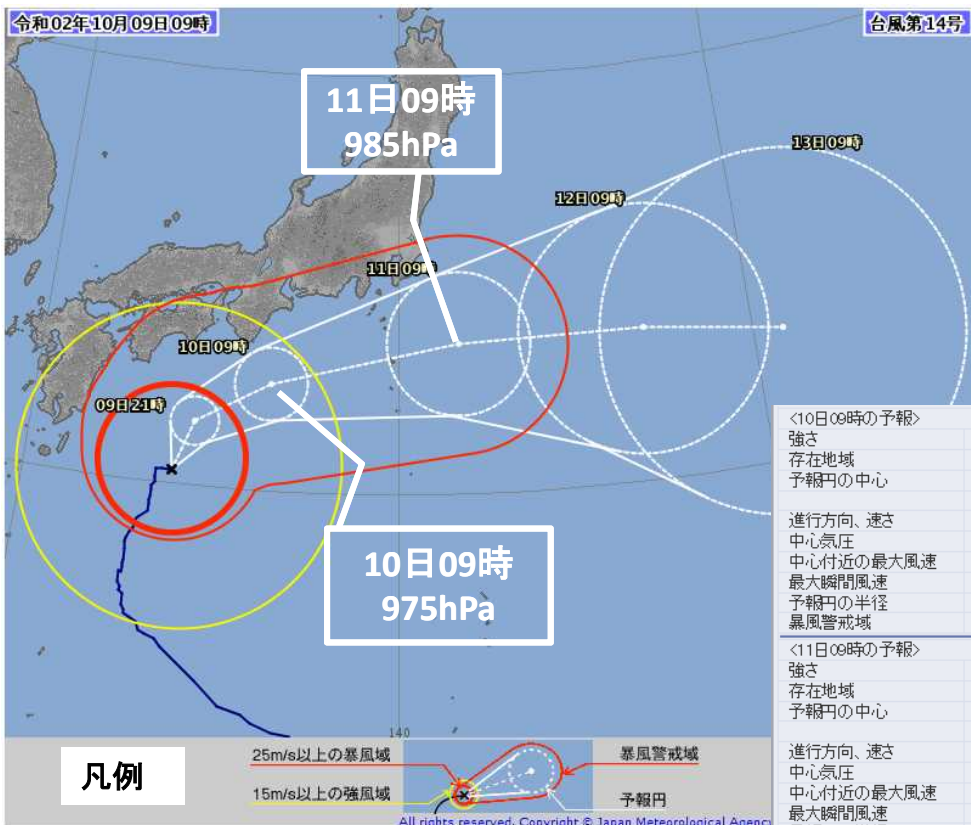
気象衛星画像 10月9日09時

日本域 赤外

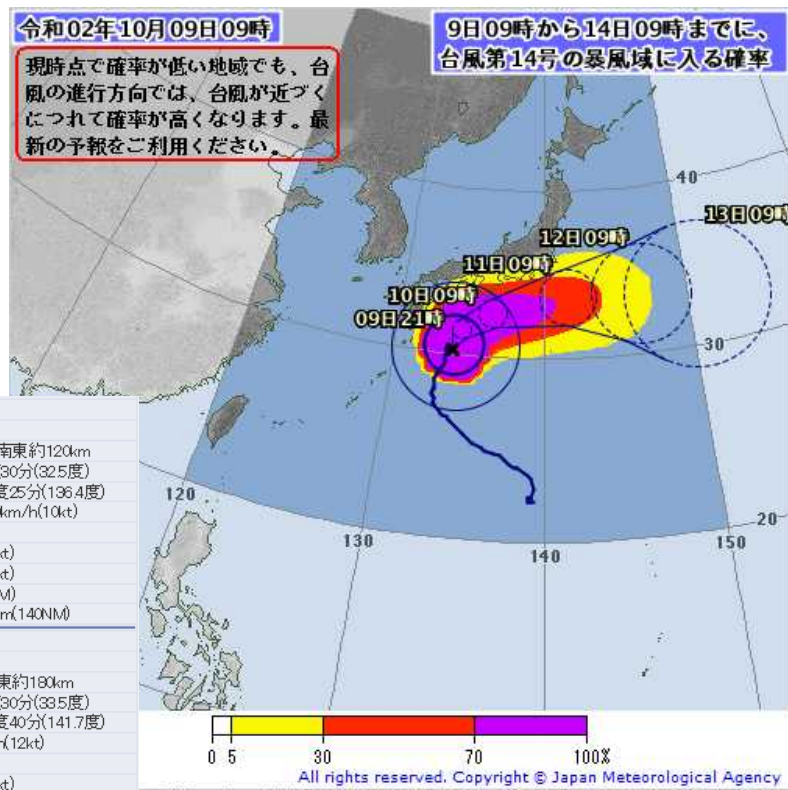


- 9日9時現在、強い台風第14号は、足摺岬の南南東約280kmにあり、ゆっくり北東に進んでいる。
- 台風周辺に発達した雨雲が見られる。

9日9時現在の進路予想（予報円の中心を通った場合）



＜10日09時の予報＞	
強さ	強い
存在地域	潮岬の南南東約120km
予報円の中心	北緯 32度30分(32.5度) 東経 136度25分(136.4度)
進行方向、速さ	東北東 20km/h(10kt)
中心気圧	975hPa
中心付近の最大風速	35m/s(65kt)
最大瞬間風速	50m/s(95kt)
予報円の半径	95km(50NM)
暴風警戒域	全域 260km(140NM)
＜11日09時の予報＞	
強さ	-
存在地域	八丈島の東約180km
予報円の中心	北緯 33度30分(33.5度) 東経 141度40分(141.7度)
進行方向、速さ	東 20km/h(12kt)
中心気圧	965hPa
中心付近の最大風速	30m/s(55kt)
最大瞬間風速	40m/s(80kt)
予報円の半径	190km(105NM)
暴風警戒域	全域 290km(155NM)



暴風域に入る確率(分布予報)

台風の中心が予報円に入る確率は70%です。

- 10日にかけて四国の南を北東から東北東に進み、強い勢力を保ったまま西日本に接近するおそれがある。
- 京都府には、10日朝から昼前に最も接近する見込み。

台風第14号による京都府への影響の見通し

京都地方气象台 (2020年10月9日09時現在)

		9日					10日									
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時		
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く		
台風最接近																
京都府北部	大雨(浸水) (ミリ)	10	20	20	20	20	20	20	20	20	10	10	5	5		
	大雨(土砂)															
	暴風 (メートル)	陸上	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 ←	12 →	12 →	12 →	12 ↓	12 ↓	12 ↓	12 ↓	12 ↓	
		海上	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 ←	15 →	15 →	15 →	15 ↓	15 ↓	15 ↓	15 ↓	15 ↓	
	波浪 (メートル)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
高潮 (メートル)	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.4	0.3							
京都府南部	大雨(浸水) (ミリ)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	10	10	5	5		
	大雨(土砂)															
	暴風 (メートル)	6 ↗	12 ↗	12 ↗	12 ←	12 ←	12 →	12 →	12 →	12 ↓	12 ↓	12 ↓	12 ↗	12 ↗		

警報級

注意報級

注意報、警報の発表のタイミングは、注意報級、警報級の現象となる3~6時間前となる。

舞鶴の高潮

年/月/日(曜日)	満潮							
	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位
2020/10/09(金)	4:52	49	*	*	*	*	*	*
2020/10/10(土)	5:41	48	*	*	*	*	*	*
2020/10/11(日)	7:10	47	*	*	*	*	*	*
2020/10/12(月)	1:10	45	8:52	47	*	*	*	*

京都府北部	警報級の可能性						
	9日		10日		11日	12日	13日
	夕方まで 6-18	夜~明け方 18-6	朝~夜遅く 6-24	朝~夜遅く 6-24			
大雨	-	-	[中]	-	-	-	
大雪	-	-	-	-	-	-	
暴風(暴風雪)	-	-	-	-	-	-	
波浪	-	-	-	-	-	-	

京都府南部	警報級の可能性						
	9日		10日		11日	12日	13日
	夕方まで 6-18	夜~明け方 18-6	朝~夜遅く 6-24	朝~夜遅く 6-24			
大雨	-	[中]	[中]	-	-	-	
大雪	-	-	-	-	-	-	
暴風(暴風雪)	-	-	-	-	-	-	

まとめ

台風第14号は、10日朝から昼前に京都府に最も接近する見込み。台風が進路予想の北側を進んだ場合は、南部では10日明け方から暴風域に入る可能性があり、10日明け方からは警報級の大雨となる可能性もある。また、高潮についても、台風が進路予想の北側を進んだ場合は、注意報級の可能性がある。

■雨

前線や台風に伴う雲域により10日にかけて雨が降り続くため、大雨となるおそれがある。

■風

北部では10日にかけて東のち北よりの風が強い見込み。

南部では9日昼過ぎから10日にかけて東のち北よりの風が強い見込み。

■波

10日にかけて波が高い見込み。

防災事項

強風、高波に注意。低い土地の浸水、土砂災害、河川の増水に十分注意。

最大 24時間 降水量	期間	9日12時～10日12時	
		北部 80ミリ	南部 100ミリ
最大 1時間 降水量	期間	10日12時～11日12時	
		北部 およそ50ミリ	南部 およそ50ミリ
最大 1時間 降水量	期間	9日	10日
		北部20ミリ 南部20ミリ	北部20ミリ 南部20ミリ

最大風速 (最大瞬間 風速)	期間		9日	10日
	北部	陸上	12メートル (25メートル)	12メートル (25メートル)
		海上	15メートル (25メートル)	15メートル (25メートル)
	南部		12メートル (25メートル)	12メートル (25メートル)

波(最大)	期間	9日	10日
	海上	3メートル	3メートル

潮位(最大)	期間	9～10日
	北部	注意報級未滿

報道機関の皆さまへのお願い
住民の皆さまへ以下の呼びかけにご協力をお願いします。

台風の接近に備えて

- 気象台が発表する**警報・注意報など気象情報**に留意するとともに、**市町村の避難勧告等**に注意してください。
- 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水をはじめ、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、明るいうちに安全な場所に移動するなど、雨や風が強まる前に**早め早めの安全確保**をお願いします。
- 屋外での作業や不要な外出は控え、急傾斜地や増水した河川・用水路など**危険な場所には絶対に近づかないよう**お願いします。
- 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください

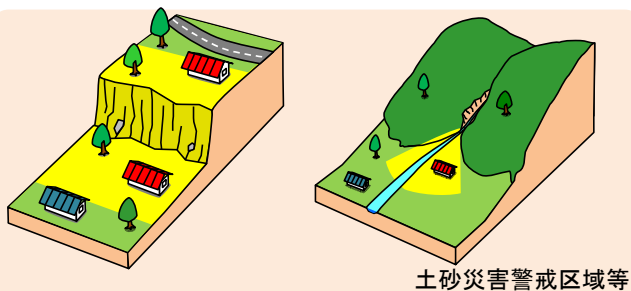
參考資料

大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

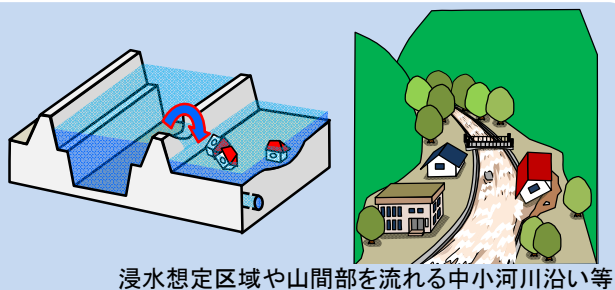
土砂災害



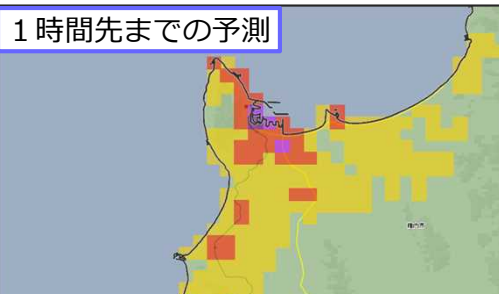
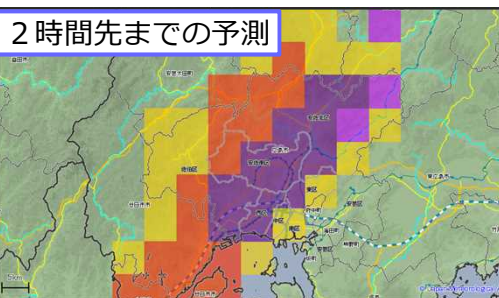
浸水害



洪水災害



危険度分布



災害の例



暴風による災害への備え

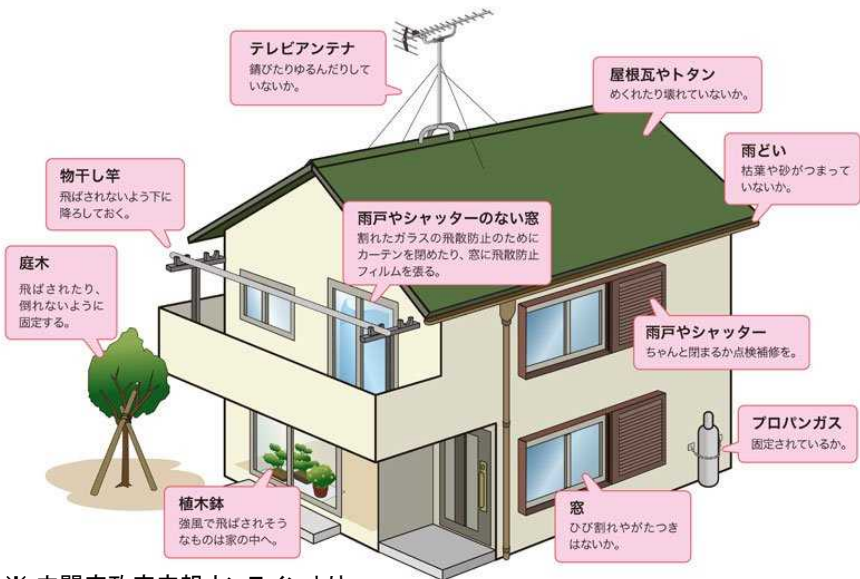
- ▶ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- ▶ 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- ▶ 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 □注意報級)										備考・関連する現象
		〇〇日										
発表中の警報・注意報等の種別		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	以後も注意報級
	海上	0	12	20	25	35	30	15	10	10		

暴風警報

陸上では昼過ぎから風速20メートル

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム (被覆材) が広範囲に破れる。	30
25~30 ~約110km/h			固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

高波・高潮による災害への備え

- ▶ 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せることがあります。むやみに海岸には近付かないください。
- ▶ 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- ▶ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		4日					5日					
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	0										浸水注意
	(浸水害) (土砂災害)											
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12	ピークは4日16時頃
	海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15		
波浪	波高 (メートル)	1.5	2	3	4	4	2	2.5	1.5	1.5		
高潮	潮位 (メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5				
雷												竜巻

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



「危険度分布」を活用して早めの避難を

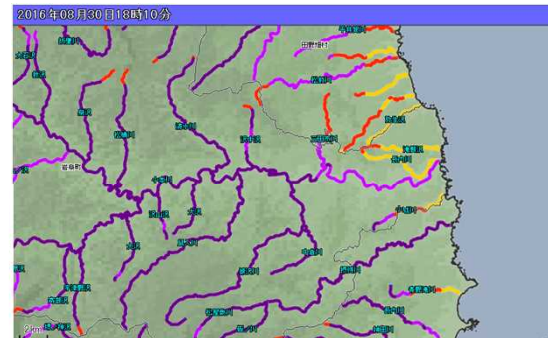
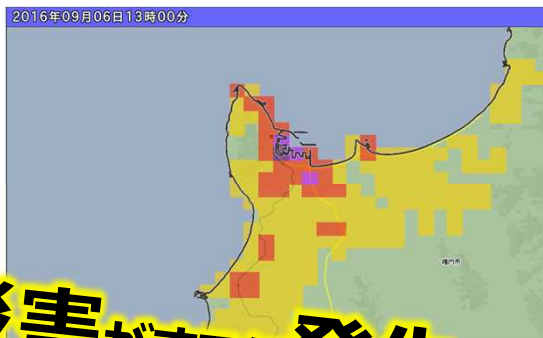
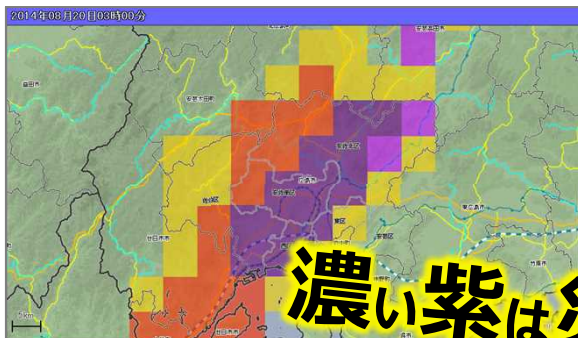
土砂災害警戒
判定メッシュ情報



大雨警報(浸水害)
の危険度分布



洪水警報の
危険度分布



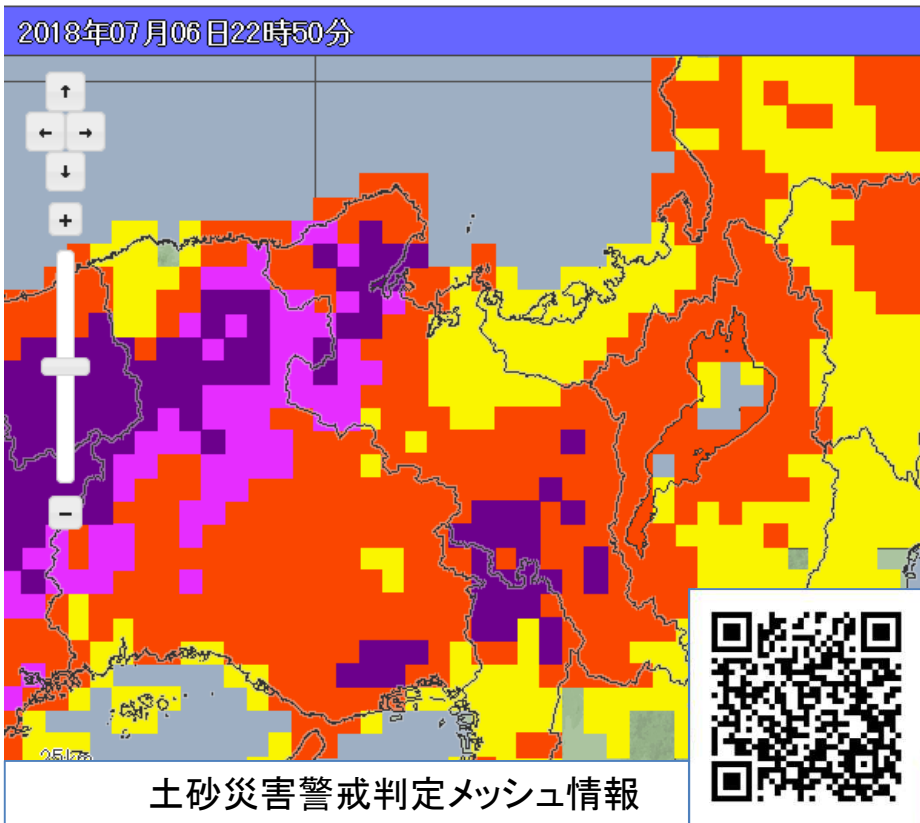
濃い紫は災害がすでに発生しているもおおしくない



「危険度分布」の「**濃い紫**」が出現してからでは、重大な災害が**すでに発生**している可能性が高い極めて危険な状況となることから、できる限り早めの避難を心がけ、遅くとも**薄い紫**が出現した段階で、（洪水害については河川水位などの現況も確認した上で）速やかに避難開始の判断をすることが重要です。

避難の判断には、土砂災害警戒判定メッシュ情報、浸水や洪水の危険度分布をご活用ください。

7月6日22時50分」北部に特別警報を発表した時の土砂災害警戒判定メッシュ情報など ↓

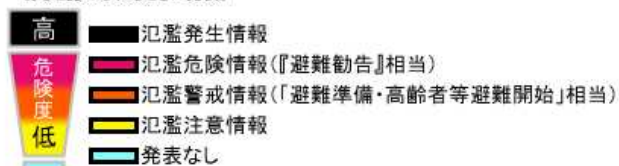


土砂災害警戒判定メッシュ情報

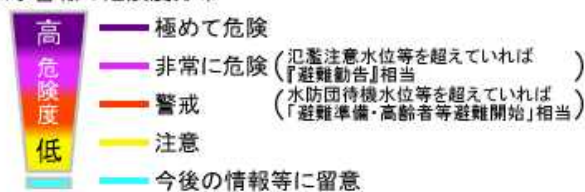


指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



洪水警報の危険度分布



自分のいる場所の「危険度分布」を確認しましょう。



① 気象庁ホームページのバナーをタップ



② 現在位置取得ボタンをタップ

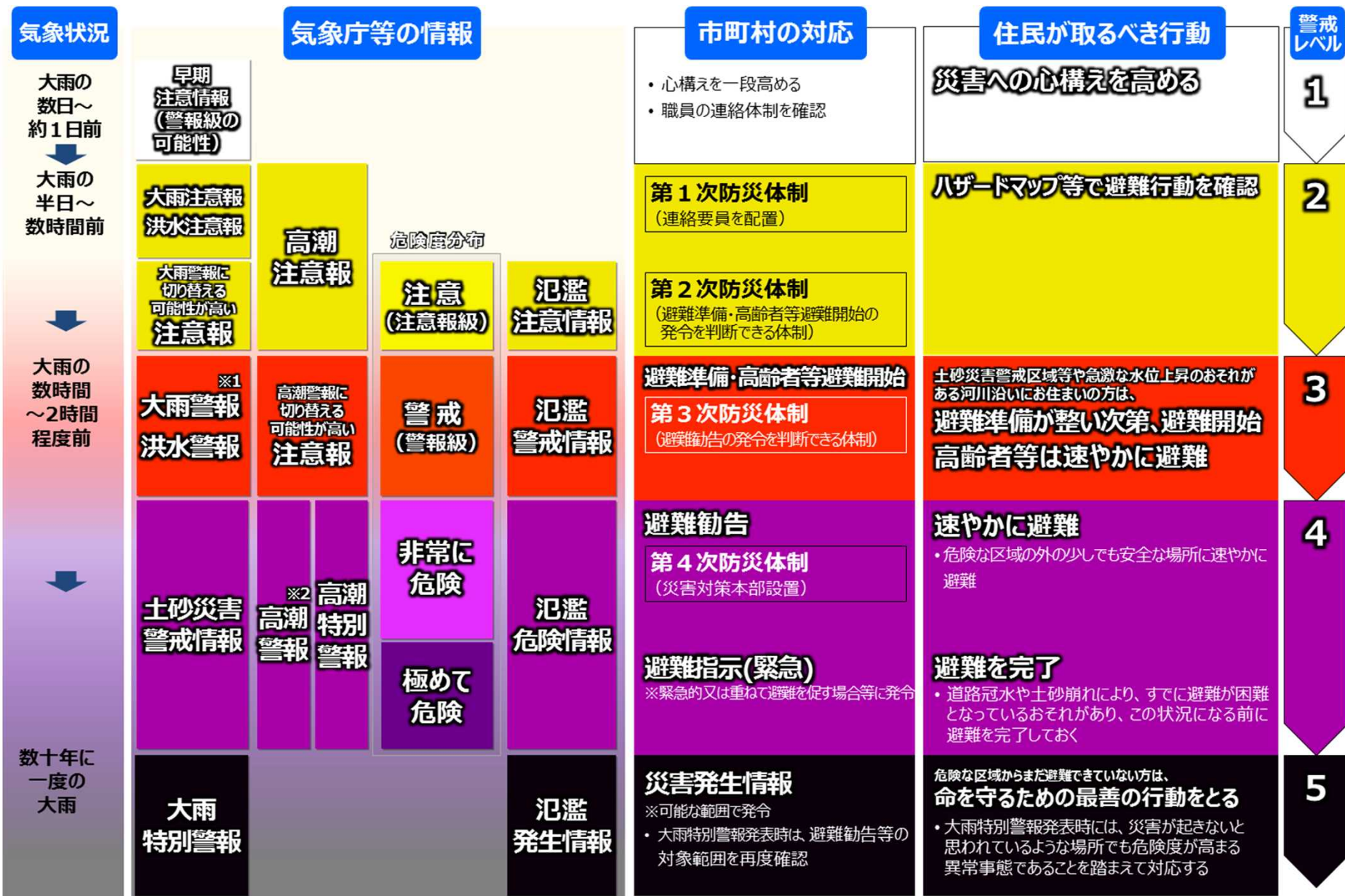


③ 自分のいる場所の危険度が表示

スマートフォン等の位置情報機能を活用し、自分のいる場所の「危険度分布」を確認しましょう。

PC等で「お気に入り」に登録して活用できる、[都道府県別の危険度分布等を簡単に表示できるURL](#)も用意しています。

(参考) 段階的に発表される防災気象情報の活用例

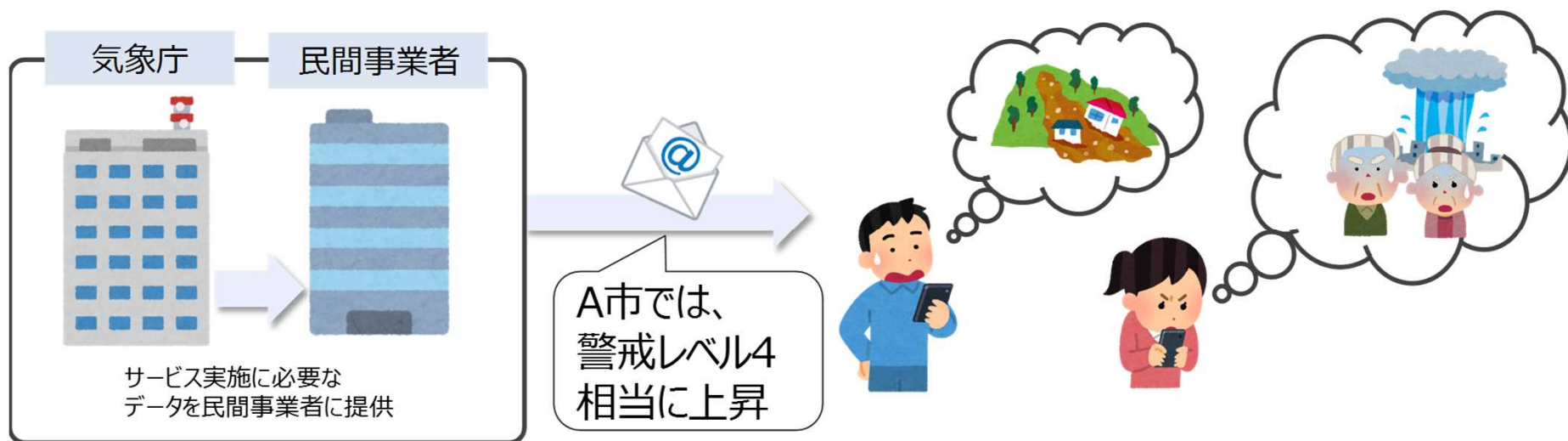


※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

(参考) 「危険度分布」の通知サービスについて

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立ていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- ▶ この通知は市町村からの避難勧告等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難勧告等を確認するとともに、避難勧告等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「危険度分布」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上の階などに避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報の入手先

○気象警報・注意報

(大雨、洪水、暴風、波浪、高潮などによる、災害のおそれを警告・注意するとともに、警報級の可能性を伝える)

<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

○各地の気象情報 (気象概況や大雨の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>

○台風情報 (台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html

○指定河川洪水予報 (国や自治体の管理する主な河川のはん濫の危険度を予測)

<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>

○土砂災害警戒情報 (避難勧告等の応急対応が必要な土砂災害への警戒を呼びかける)

<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

○大雨・洪水警報の危険度分布 (土砂災害、浸水害、洪水害の危険度分布 (メッシュ情報) を表示)

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

○最新の気象データ (高解像度降水ナウキャスト、今後の雨、雨や風の観測データ)

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

京都地方気象台への問い合わせ先

- 075-841-3006 (防災管理官室)
- 075-841-3008 (現業室)